



PHIL JONES BASS

# X2C Dual-Band Compressor

## 取扱説明書

この度はX2Cをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み下さい。

楽器の信号を高音域と低音域にわけて、それぞれ独立してコンプレッサーを掛ける事ができるペダルです。

2つの帯域を分ける境界周波数は、100Hzから500Hzの間で可変でき、X/Oコントロールで決定します。  
現代的なコンプレッサーには欠かせない、ドライ音とウェット音のミックスができるPARALLELコントロールも装備。  
MIXノブは、メインアウトに送られる2つの帯域シグナルのミックス具合を決め、マスタートーンのように利用できます。

また、それぞれにループを備えており、各帯域で別にエフェクトなどを接続することもできます。  
ベースで失われがちな低音はそのままに、高周波数帯のみにドライブやフィルターを掛けるなど、アイデア次第で様々な使い方ができます。

また各ループは、リターン端子で信号がカットされる設計で、センド端子のみを使えば、各帯域の音を別のアンプやPAIに送り出すためのクロスオーバーとしても使えます。

\*このペダルはトゥルーバイパスではありません。接続すると、信号は内部の高性能バッファーを通ります。  
フットスイッチはコンプレッサー回路のオンオフ切り替え用で、最下段の3つのノブ(Parallel, LO/Hi Mix, X/O Frequency)は常に有効です。

### 【仕様】

■入力インピーダンス: 220K $\Omega$  ■出力インピーダンス: 100 $\Omega$  ■回路タイプ: CLASS A/B ■ゲイン範囲: -16dB~16dB ■最大入力レベル: 2V ■最大出力レベル: 2V ■出力タイプとゲイン: 最大 16dB ゲイン ■ノイズ (20kHz 無負荷時): -85 dBu (LEVEL at MAX) ■周波数レスポンス: 10-25KHz ■コンプレッサーの種類: VCA 圧縮 ■スレッシュホールド-レシオ: 1:1 から 10:1 までの比率圧縮変数 ■アタック - リリース: HIGH アタック (400ms ~ 20ms)、リリース (30ms ~ 700ms) LOWアタック(1000ms~40ms)、リリース(200ms~2500ms) ■クロスオーバータイプ: 2次RCディバイダー 100Hz~500Hz ■DC 電源: DC9Vアダプター、センターマイナス、1000mA以上を推奨 ■消費電力: 最大680mA ■寸法: 120(W) x 40(H) x 144(D)mm ■重量: 550g

### 注意

このペダルを作動させるには、電源アダプターが必要です。

右記仕様のアダプターを使用して下さい。 センターマイナス、出力 9V、1000mA以上を推奨。

このペダルは、スタジオ機材に匹敵する高音質重視の設計です。内部で9Vを昇圧し高電圧で作動しますので、消費電力は高めです。  
低いスペックの電源アダプターを使うと誤動作や作動不良などの原因になりますので、ご注意ください。

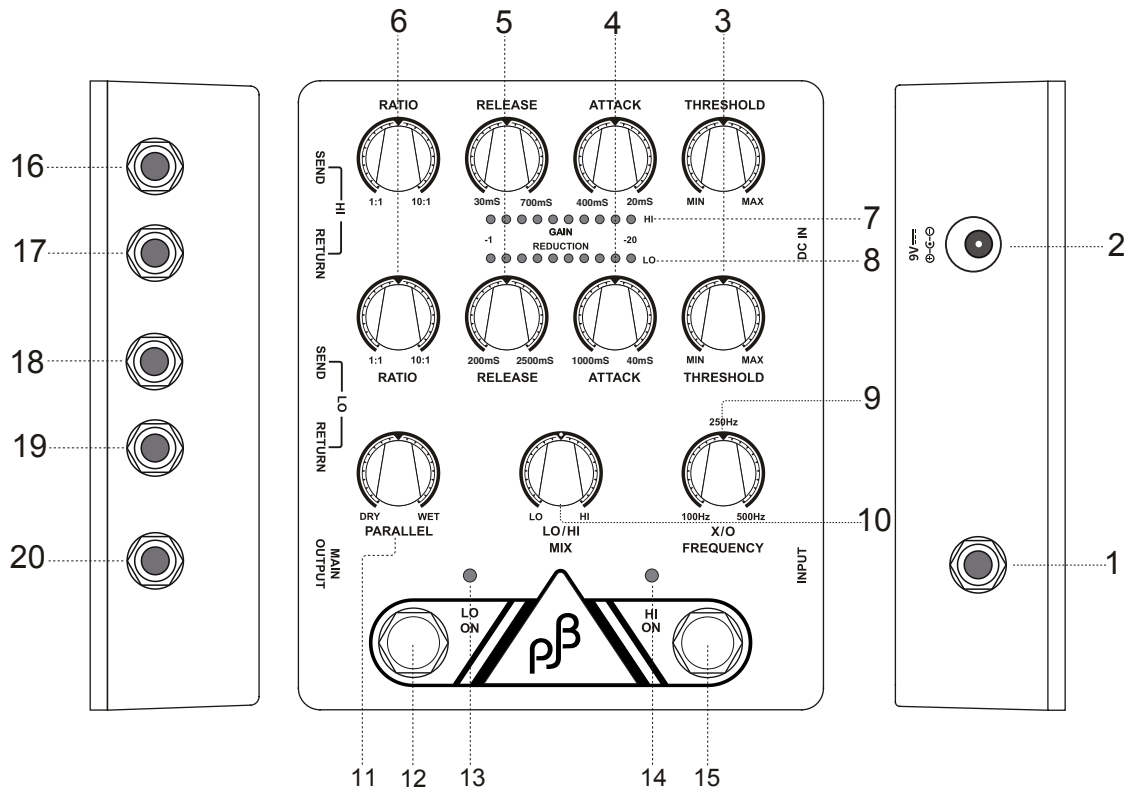
品質向上のため予告なく仕様・価格等が変更になる場合があります。最新情報はウェブで。

Phil Jones Bass 日本総代理店: JES International, Inc. 470-0112 愛知県日進市藤枝町小山711-1 TEL:0561-72-9801

pjbjapan.com



# コントロールおよび入出力端子



## 1. 楽器入力ジャック

楽器を接続するか、別のペダルからの出力を接続します。

## 2. DC電源入力ソケット

9ボルトDC電源を接続します。センターはマイナスです。電源の電流容量は1000mA以上である必要があります。

## 3. スレッシュホルド

コンプレッサーが作動する音量レベルを調整します。時計回りに回すほど、より小さい音にまでコンプレッサーが作動します。

## 4. アタック

コンプレッサーがどれだけ早く作動するかを調整します。時計回りに回すほど、早くコンプレッサーが効き始めます。

## 5. リリース

コンプレッサーが作動してから終了するまでの時間を調整します。時計回りに回すほど、長い時間コンプレッサーが効きます。

## 6. レシオ

コンプレッサーが作動したとき圧縮率を決定します。時計回りに回すほど、圧縮される比率が高くなり、より強くコンプレッサーが効きます。

## 7. 高周波帯域ゲインリダクションメーター

高周波信号に適用されるコンプレッサーの掛かり具合を表示します。

## 8. 低周波帯域ゲインリダクションメーター

低周波信号に適用されるコンプレッサーの掛かり具合を表示します。

## 9. XO(クロスオーバー)

入力信号をどの周波数で分けて、高域と低域に送るかを決めるコントロールです。

## 10. LOW / HI MIX

HIとLOの信号をどの具合でミックスして出力するかを調整します。トーン調整として機能します。

## 11. PARALLEL

このコントロールは、原音 (DRY) と、HI&LOのミックス音(WET)のバランスを調整します。DRY側に回し切れば原音のみ、WET側に回し切ればコンプ音のみが出力されます。

## 12. LO フットスイッチ 13. LO ONインジケーター

低周波数コンプレッサーのON/OFFスイッチとLEDです。

## 14. HI ONインジケーター 15. HI フットスイッチ

高周波数コンプレッサーのON/OFFスイッチとLEDです。

## 16. HI センド

この端子は2つの用途に利用できます。

1つは、一般的なエフェクトループとしての利用です。コンプレッサーを通った高周波数帯の信号を、このHIセンド・ジャックから外部エフェクターに接続し、HIリターン・ジャックに戻します。

2つめの利用方法としては、クロスオーバーペダルとして、高周波数帯の信号を別の外部アンプなどに送り出すことができます。このジャックに接続しても内部の信号は切断されませんので、メインアウトからも出力されます。

## 17. HI リターン

HIセンドから外部エフェクターに送った信号を戻します。このジャックにプラグを接続すると、HIセンドの信号は内部的には遮断されますので、このHIリターンからの信号がメインアウトから出力されます。

ローエンドの音質を保ちながら、高周波数帯にドライブやフェイザーなどを掛けるなど、色々な使い方ができます。

## 18. LO センド

低周波数帯において、HIセンドと同じ動きをします。

## 19. LO リターン

低周波数帯において、HIリターンと同じ動きをします。

## 20. メイン・アウト

11のPARALLELでミックスされた信号が出力されます。